



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月7日

東・名

上場会社名 株式会社ダイセキ 上場取引所
 コード番号 9793 URL <https://www.daiseki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画管理本部長 (氏名) 片瀬 秀樹 (TEL) 052 (611) 6322
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	54,474	8.8	11,307	1.6	11,570	0.0	7,062	△3.1

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 7,899百万円(△0.7%) 2025年2月期第3四半期 7,956百万円(△3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	148.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年2月期	102,884	82,143	77.5

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 79,743百万円 2025年2月期 84,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	33.00	—	39.00	72.00
2026年2月期(予想)	—	36.00	—	40.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、第3四半期決算短信【添付資料】P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年2月期3Q	48,000,000株	2025年2月期	51,000,000株
2026年2月期3Q	713,755株	2025年2月期	2,923,061株
2026年2月期3Q	47,475,594株	2025年2月期3Q	48,145,924株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(企業結合等関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料費、労務費等の高騰による物価上昇や不安定な海外情勢、米国の通商政策の影響による関税の影響などから、国内鉱工業生産は引き続き低調に推移しました。

こうした経済情勢下、グループの主力事業である株式会社ダイセキの工場廃液を中心とした産業廃棄物の処理事業は、原材料費、労務費等の上昇があったものの、リサイクル燃料の原料となる廃液を新規顧客等から積極的に獲得したことにより計画は下回ったものの、売上、営業利益、経常利益、純利益のいずれも過去最高となりました。

株式会社ダイセキ環境ソリューションの土壤汚染処理関連事業は、建設資材の価格高騰や労務費の上昇等の課題があるものの、政府建設投資が堅調である上、民間建設投資も増加傾向にあり、前期から継続中の関東エリアの大規模・高付加価値案件が順調に推移したことにより計画を上回り、增收増益となりました。

株式会社ダイセキMCRの鉛リサイクル事業は、昨年度実施した大規模修繕のおかげで、工場での生産は順調に推移し、売上は過去最高となりましたが、鉛の市場価格及び原材料費などの上昇の影響等により利益は計画を下回りました。システム機工株式会社の大型タンク等の洗浄事業は、高収益工事案件完了により、売上、利益共に過去最高となりました。

当社グループは、今後の事業拡大のために、引き続き人材確保ならびに教育を強化し、環境創造企業として「限られた資源を活かして使う『環境を通じ社会に貢献する環境創造企業』」というパーソナリティを重視した経営を行うことにより、地域社会から愛される企業を目指してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高54,474百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益11,307百万円(同1.6%増)、経常利益11,570百万円(同0.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,062百万円(同3.1%減)となり、第3四半期連結累計期間としては売上高は過去最高の業績となりました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は102,884百万円と前連結会計年度末に比べ10,750百万円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が2,126百万円、有形固定資産が1,424百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が14,076百万円減少したことによります。負債は20,741百万円と前連結会計年度末に比べ956百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が843百万円減少したものの、短期借入金が1,380百万円、電子記録債務が101百万円それぞれ増加したことによります。純資産は82,143百万円と前連結会計年度末に比べ11,707百万円減少いたしました。これは主に自己株式の消却等による自己株式の減少により8,695百万円増加したものの、自己株式の消却等により利益剰余金が8,123百万円、子会社株式の追加取得等により非支配株主持分が7,124百万円、資本剰余金が5,307百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月8日公表の業績予想から変更はありませんが、配当予想については修正しております。詳細につきましては、本日（2026年1月7日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,416	16,339
受取手形、売掛金及び契約資産	11,751	13,877
電子記録債権	1,166	1,424
有価証券	500	—
棚卸資産	2,138	2,420
その他	685	547
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	46,650	34,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,345	15,206
機械装置及び運搬具（純額）	6,507	6,374
土地	29,391	29,722
建設仮勘定	1,350	1,593
その他（純額）	808	931
有形固定資産合計	52,403	53,827
無形固定資産		
のれん	773	690
顧客関連資産	819	769
その他	362	347
無形固定資産合計	1,955	1,807
投資その他の資産		
投資有価証券	7,169	6,978
長期預金	3,500	3,500
繰延税金資産	1,402	1,488
その他	554	683
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	12,625	12,650
固定資産合計	66,984	68,285
資産合計	113,635	102,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,048	3,342
電子記録債務	1,013	1,115
短期借入金	1,330	2,710
1年内返済予定の長期借入金	928	903
未払法人税等	2,494	1,650
賞与引当金	602	411
その他	3,576	4,830
流動負債合計	13,993	14,964
固定負債		
社債	4	—
長期借入金	3,772	3,748
役員退職慰労引当金	27	23
退職給付に係る負債	1,286	1,337
繰延税金負債	268	258
その他	432	408
固定負債合計	5,791	5,777
負債合計	19,784	20,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,071	1,763
利益剰余金	82,193	74,070
自己株式	△11,456	△2,761
株主資本合計	84,190	79,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	268
退職給付に係る調整累計額	83	20
その他の包括利益累計額合計	135	288
非支配株主持分	9,523	2,399
純資産合計	93,850	82,143
負債純資産合計	113,635	102,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	50,032	54,474
売上原価	32,891	36,159
売上総利益	17,140	18,315
販売費及び一般管理費	6,013	7,007
営業利益	11,127	11,307
営業外収益		
受取利息	58	81
受取配当金	16	20
受取保険金	11	60
受取補償金	26	42
補助金収入	289	16
その他	68	91
営業外収益合計	471	312
営業外費用		
支払利息	23	30
自己株式取得費用	1	2
損害賠償金	0	12
その他	8	4
営業外費用合計	34	49
経常利益	11,564	11,570
特別利益		
固定資産売却益	27	46
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	27	48
特別損失		
固定資産売却損	—	24
固定資産除却損	51	156
固定資産圧縮損	19	—
特別損失合計	70	181
税金等調整前四半期純利益	11,521	11,437
法人税、住民税及び事業税	3,690	3,855
法人税等調整額	△49	△168
法人税等合計	3,641	3,686
四半期純利益	7,880	7,750
非支配株主に帰属する四半期純利益	590	688
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,289	7,062

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	7,880	7,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	215
退職給付に係る調整額	14	△66
その他の包括利益合計	76	148
四半期包括利益	7,956	7,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,325	7,215
非支配株主に係る四半期包括利益	630	684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年4月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、普通株式800,000株を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,947百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年10月2日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式3,000,000株を消却しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ11,605百万円減少しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	2,471百万円	2,569百万円
のれんの償却額	102	83
顧客関連資産償却額	50	50

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

子会社株式の追加取得

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称：株式会社ダイセキ環境ソリューション

- 事業の内容 : 土壌汚染調査、汚染土壤処理
- (2) 企業結合日
株式公開買付けによる取得：2025年11月21日（みなし取得日 2025年11月30日）
- (3) 企業結合の法的形式
現金を対価とした株式取得
- (4) 結合後企業の名称
変更はありません。
- (5) その他の取引の概要に関する事項
企業結合前の株券等所有割合 53.87%
株式公開買付け後の株券等所有割合 95.70%

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳
取得の対価 現金 13,006百万円
取得原価 13,006百万円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

- (1) 資本剰余金の主な変動要因
子会社株式の追加取得
- (2) 非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額
5,308百万円